

事業者向

放課後等デイサービス自己評

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			基準よりも広いスペースを確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			基準に基づき配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		正面玄関でない方の階段に昇降機を設置している。玄関を入るときに15センチの段差がある。フロアはバリアフリーになっている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			人事考課制度を導入し、目標設定、振り返り、面談を行い、スキルアップ、業務改善に取り組んでいる。また、受け入れ前のミーティングと終了後の振り返りを行い、支援の向上に努めている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者アンケート調査を実施し、意見や要望などを確認した。今後の業務、支援の改善につなげていきたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			法人のホームページで公表している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在は行っていないが、法人内の他の事業所では導入して評価を受けた。今後行っていく必要があると考えている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部講師による発達学習会を年15回開催し全スタッフが参加している。自主研修制度を設けている。各種研修会の案内をして、参加を勧めている。今年度は全てweb研修であった。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			契約時に保護者にフェイスシートの記入をしてもらい、また、状況等の聞き取りを行い、ニーズや課題の把握に努め、支援計画に反映させている。定期的に聞き取りを行い、日々の様子観察やトレーニングソフト等も利用しながらニーズや課題の把握をし、支援計画に反映させている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			初回利用の前に、ヴァインランドⅡを使用して保護者に聞き取りを行い、適応行動の状況を知り、個別支援計画に反映させている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			月案は児童発達支援管理責任者が中心となり、スタッフと相談しながら作成している。日々の細かいプログラムはスタッフ間で検討して作成している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			運動や遊びの内容を日々工夫して行っている。長期休暇中には外出や野外活動、昼食の調理などを取り入れている。子どもの意見や提案を取り入れるようにしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日、長期休暇ともタイムスケジュールがあり、グループ活動、個別活動を組み入れた設定活動を行っている。長期休暇中には外出活動や昼食の調理など、普段にはできないことを取り入れている。

14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもたちそれぞれの課題に沿った支援計画を立て、個別活動やグループ活動に取り入れている。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			受け入れ準備と打ち合わせをスタッフ皆で行い、支援内容、役割分担など必要なことを確認している。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後、振り返りと記録整理をスタッフ皆で行い、気付きや次回への向けての確認事項などを共有している。
17	日々の支援に関して正しい記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			ケース記録、業務日誌、日案、振り返りを日々記録し、次回の支援に生かしている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		6か月ごとにモニタリングを行い、個別支援計画の見直しをしている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○		自立支援、日常生活の充実のための支援、社会体験、調理、余暇支援、機能訓練などを組み合わせて支援している。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		会議が開かれる場合は、管理者又は児童発達支援管理責任者が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に	○		年度初めに学校を訪問又は電話連絡して必要な情報共有を行っている。下校時間については保護者を介し通じて確認している。授業見学や送迎時等に情報共有する等して連携を取っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現在は対象児童がいません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	就学前に利用していた児童発達支援センターとは情報共有を行ったが、保育所とは行わなかった。今後、必要に応じて連携を取っていきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等し	○		移行支援会議に於いて情報提供を行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	専門機関との連携は行っていないが、障害児療育の専門家による研修や助言を受けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	意図的な交流は行っていないが、公園遊びなどの活動で、一緒に遊ぶことはある。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		総合支援部会の発達支援部会に管理者が参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		迎えにこられた時や送迎時に短時間ではあるが状況を伝えるようにしている。課題や心配ごとなどがあれば、連絡帳に記入していただいたり、話を伺ったりして共通認識を持つようにしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	ペアレントトレーニングは行っていないが、支援方法や保護者研修などの情報提供を行うようにしている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に資料をもとに説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		個別面談を年1回行っている。相談があった時には電話や面談で話を伺い、できる範囲での助言をしている。対応できるよう、相談しやすい場所となるよう知識及び資質の向上を目指す。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	今年度、保護者参加の行事を行う予定であったが、コロナ感染症のリスク回避のため、企画を断念した。次年度は検討したい。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情解決体制を整備し、重要事項説明書に記載し、契約時に説明している。苦情があった場合には適切に対応していく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			事業所の通信を年4回、法人の会報を年4回発行している。活動予定は毎月配布している。行事がある時には案内を配布している。
	35	個人情報に十分注意している	○			個人情報の管理には十分注意している。写真や名前の公開については、『個人情報の取り扱いについての同意書』を交わし、その内容に基づいて配慮して行っている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			必要に応じて構造化や視覚支援を取り入れ、わかりやすい説明を心掛けている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	事業所独自では行っていない。法人全体では地域の方に参加していただくイベントを行っているが今年度は中止した。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			災害時、防犯、感染症、急変時等の対応を「緊急時における対応について」と題した文書にまとめて、保護者に配布している。また、その内容をスタッフ間で共有している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年に2回退避訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			法人内で研修を行っている。会議でも話し合っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等サービス計画に記載しているか	○			重要事項説明書に身体拘束を行う場合について記し、説明している。基本的に身体拘束は行わないが、タイムアウトとして落ち着くために別室で過ごすことはある。どういう状況で行うかスタッフ間で共有している。外から鍵をかけることはない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者を通じて検査結果、医師の指示について把握し、対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ひやりはっと事例報告書を作成し、その都度、対応や改善策について検討し、共有している。また会議でも再確認している。

事業所名:ふあんとす

配布数:57

回収数(有効回答数):42

回収率:74%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからな い	無回答	合計	ご意見
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	40	1		1		42	
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	40			2		42	
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	24	8	1	9		42	
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	41			1		42	
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	38	2		2		42	
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	7	6	22		42	
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	40	1			1	42	
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	42					42	
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	42					42	
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	6	15	15		42	
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	29	5		8		42	
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	39	1		2		42	
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	37	1		3	1	42	
	14	個人情報に十分注意しているか	38	2		2		42	
非常時 等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	39	1		1	1	42	
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	21	4		17		42	
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	40	2				42	
	18	事業所の支援に満足しているか	42					42	